

2025年(令和7年)1月28日 火曜日

岐 阜 新 聞

天生の水、雪中酒に

河合町特産 水源地でくみ上げ

飛騨市河合町特産の「雪中酒」の原料となる天生山麓の天然水をくむ作業が27日、同町元田の水源地近く



天然水をくみ上げる従業員＝飛騨市河合町元田

で行われた。硬水に近い澄んだ水で、合計で2500リットルほど採り、純米吟醸酒を仕込む。

雪中酒は当初、北飛騨商工会が手がけたが、現在は市の第三セクター「飛騨ゆい」が事業として行い、渡辺酒造店(同市古川町)が醸造する。

この日は、同社の従業員ら4人が水源地近くの水舟

からタンクに500リットルほどくみ上げた。今後も水を数度くみに来るという。

雪中酒は飛騨産の酒米ひだほまれを使い、純米吟醸酒に仕上げる。作業を見守った飛騨ゆいの中畑広一社長は「今年は雪も豊富なので、地元の雪でキンキンに冷やして、お客さんの元に届けたい」と話した。

同市河合町内に設けた雪室に入れて熟成し、7月ごろから順次全国へ発送する。(三輪真大)